

## 愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

### 研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った画像検査データを使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や画像検査データを利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	座位と仰臥位における眼窩内の眼球位置の比較
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 眼科 (職名) 助教 (氏名) 飯森 宏仁
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2030 年 3 月 31 日
対象となる方	2014 年 1 月から 2025 年 2 月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち涙道コンビーム CT (CBCT) または副鼻腔 CBCT (座って正面を向いた状態で撮影)、および眼窩 CT または副鼻腔 CT (仰向けの状態で撮影) 検査を行った患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、既往歴、身長、体重、治療状況、画像検査データ 等
研究の概要 (目的・方法)	眼球は眼窩と呼ばれる空間の中に存在していますが、座って正面を見ているときや仰向けになっているときにその空間内において位置が変わっている可能性があります。その詳細を調査するために眼窩、涙道、副鼻腔の疾患に対して座って正面を見た状態での CT 撮影、仰向けの状態で CT 撮影を行ったことのある患者さんを対象とし、体の向きを変えることで眼球の位置がどれくらい変わっているかを画像検査データから読み取り、調査することを目的としています。
個人情報の保護	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直

について	接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院眼科 飯森宏仁 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089－960－5361